

コロナ禍でも、各地で**女性**が**サンバ**な活動

秋の母性保護月間のなかで、各地で定期大会の開催や、おたのしみ企画が多彩に取り組みられています。今年もコロナ禍のなか、医療・介護労働者には、いまだに強い規制がかかるなかで、しっかり対策をとりつつ、**サンバ**（しゃべれバ、食べれバ・学び行動すれバ）の「食べれバ」は自粛しながら、活動は委縮しない、**キラキラ**の女性の活動報告が寄せられています。



(写真上) **愛知県医労連**は 12/3 総会で来年度方針を確認しました。続いて、お楽しみ企画として3年ぶりとなるクリスマスリース作りを先生の指導のもと行い、個人加盟の組合員さんやお子さんも交えて楽しく交流しました。



(写真下) **岐阜民医労**の「お楽しみ企画」リース作りは、年末恒例の交流の場となっていて、10年以上続いています。

(写真右) **岡山県医労連**は 12/11 女性部大会を開催し新年度方針・役員体制について提案・承認され、「コロナ禍でも女性部運動を後退させずできることから取り組もう」と意思統一しました。大会前には「知っておきたい、定年後のあれこれ」を学習し、大会後には恒例のフラワーアレンジメント、今年はスワッグを作成しました。



(写真上) 女性部大会の様子、(写真右) 作成した**スワッグ**

全国から寄せられた女性のニュースは、日本医労連のホームページ「女性のページ」にアップしますので、ご活用ください。

日本医労連ホームページURL <http://irouren.or.jp/>



←医労連 HP
女性ページ
の QR コード

